

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
東京2歳優駿牝馬	2018/12/31	SI	大井	1600m	ハイペース	良	能力比較、展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ラブミーピンク	牝2	54	西	タイキシャトル	ヘイロー系	ダンスインザダーク	サンデー系	D	C	C	C	C	C		
	2	スティールティアラ	牝2	54	桑村	サウスヴィグラス	ミスプロ系	キンググローリアス	ミスプロ系	A	A	B	B	A	B	◎	
2	3	マルバソ	牝2	54	町田	フィガロ	ノーザン系	Cozzene	ナスルーラ系	D	C	C	C	C	C		
	4	アークヴィグラス	牝2	54	瀧川	サウスヴィグラス	ミスプロ系	フジキセキ	サンデー系	A	B	B	A	A	B	○	
3	5	ブレイクフリー	牝2	54	澤田	ヴァーミアン	ミスプロ系	フレンチデビュティ	ノーザン系	B	C	B	B	B	B	△2	
	6	サブノダンサー	牝2	54	藤本	サウスヴィグラス	ミスプロ系	ブラックタイト	サンデー系	D	C	C	B	C	C		
4	7	グレイアンジェラ	牝2	54	吉原	スマートボーイ	ノーザン系	タニノギムレット	ロベルト系	B	A	B	C	B	B	△1	
	8	ダバイダバイ	牝2	54	矢野	リーチザクラウン	サンデー系	ワカオライデン	ナスルーラ系	A	A	B	B	A	B	▲	
5	9	ミコマイ	牝2	54	檜崎	エイシンフラッシュ	ミスプロ系	フレンチデビュティ	ノーザン系	D	C	C	C	C	C		
	10	シャリライモン	牝2	54	御神本	プリサイズエンド	ミスプロ系	クロフネ	ノーザン系	C	A	C	B	C	C		
6	11	シェリアモール	牝2	54	加藤	グラスワンダー	ロベルト系	タイキシャトル	ミスプロ系	C	C	C	B	C	B	×1	
	12	ケンガイア	牝2	54	笹川	トランセンド	アイスカベイド系	ゼンノロブロイ	サンデー系	C	B	C	C	C	C		
7	13	セイシャレード	牝2	54	増田	カジノドライヴ	ナスルーラ系	クロフネ	ノーザン系	D	D	C	C	D	D		
	14	エムティアン	牝2	54	左海	バドトロワ	ミスプロ系	エルハーブ	ノーザン系	B	B	B	C	B	B	△3	
8	15	ミッドサマーナイト	牝2	54	真島	ダンカーク	ミスプロ系	Bluegrass Cat	ノーザン系	D	A	C	C	C	C		
	16	ポルドーシエル	牝2	54	森	タイキシャトル	ヘイロー系	タニノギムレット	ロベルト系	D	A	C	C	C	C		

隊列図	見解	ラップタイム
スティ ブレイ エムテ アーク ケンガ マルバ ポルド シェリ ミッド セイシ シャリ グレイ ミコマ ラブミ	<p>南関東で行われる2歳牝馬限定の重賞は、ローレル賞と東京2歳優駿牝馬のみ。ゆえにローレル賞→東京2歳優駿牝馬が南関東の2歳牝馬にとって主要ローテで、東京2歳優駿牝馬では当然のことながらローレル賞組が強い。過去5年の東京2歳優駿牝馬の3着以内馬は以下の通りで、3着以内馬15頭のうち9頭が前走ローレル賞に出走していた。昨年はグラヴィオーラ（ローレル賞7着）→ストロングハート（同3着）→ゴールドパテック（同1着）で決まり、ローレル賞組が1～3着を独占。川崎1600m→大井1600mと条件が変わるので、ローレル賞の着順がそのままスライドするわけではないが、それでもローレル賞勝ち馬は【2.1.2.0】と複勝率100%。ローレル賞での結果はある程度重視すべきだろう。今年は例年以上にローレル賞組以外が手薄な印象。今年もローレル賞組の取捨がカギを握るレースになるだろう。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は<b>スティールティアラ</b>の逃げ切りに期待する。これまで対アークヴィグラスに3戦3敗。対戦成績では確かに分が悪いものの、最も迫ったのが前走のローレル賞。（以下省略）</p>	

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ラブミーピンク		前走は8頭立てで前がハイペースで飛ばし、展開がドハマリしての勝利。重賞では荷が重い。		
	2	スティールティアラ	◎	2番手追走のホウショウレイルはスタミナ切れを起こして5着に敗退。一方、逃げた本馬は最後まで見せ場を作り、勝ち馬アークヴィグラスから0.3秒差の4着に健闘。この距離なら展開ひとつでアークヴィグラスとの逆転があっても不思議ではないだろう。		
2	3	マルパン		近3走で2勝を挙げるも舞台が川崎900m。大井1600mのガチンコ勝負では分が悪いだろう。		
	4	アークヴィグラス	○	初の1600mになった前走ローレル賞では正攻法の競馬で押し切り勝ち。今年の東京2歳優駿牝馬はローレル賞組以外が明らかに手薄で、前走通りのパフォーマンスを發揮すれば、引き続き勝ち負けに加わってくるだろう。展開と枠順を考えても、馬場のいいラチ治いを通れる可能性が高い。		
3	5	ブレイクフリー	△2	前走金沢シンデレラカップでは勝ち馬バレスラプリーから0.1秒差の2着に好走。バレスラプリーは次走ローレル賞で3着に好走しており、バレスラプリーを基準に考えれば、本馬がローレル賞上位組と互角の競馬を見せても驚けない。		
	6	サブノダンサー		クラスが上がって壁にぶつかっている感じ。重賞では荷が重いだろう。自分の競馬に持ち込むのも難しい。		
4	7	グレイアンジェラ	△1	ローレル賞で7着に敗れたが、素質はアークヴィグラスやスティールティアラにも劣らないものがある。エーデルワイス賞では大外一気で強烈な未脚を見せ、ゴール板があと50mくらい長ければ、本馬が差し切っただけでも不思議ではなかった。		
	8	ダバイダバイ	▲	新馬から【2.2.2.0】とコンスタントに走り、前走ローレル賞では勝ち馬アークヴィグラスから0, 1秒差の2着に好走。ローレル賞組を上位に評価するなら当然本馬にも重い印を打つべきだろう。不安は馬体減りが続いていること。本馬に関しては馬体重をしっかりとチェックしたい。		
5	9	ミコマイ		前走同条件のひばり特別では12頭立ての10着と大敗。重賞では荷が重い。		
	10	シャリライモン		前走同条件のひばり特別で強敵相手に5着と健闘するも、走破時計は1分45秒8といまひとつ。過去3年の東京2歳優駿牝馬の勝ち時計は1分42秒台。持ち時計を大幅に詰めない限り、上位争いは難しいだろう。		
6	11	シェリーアモール	×1	前走プリンセスカップは相手関係に恵まれた勝利に見えたが、3走前のフローラルカップでは本命を打ったスティールティアラと差のない競馬。鞍上の勝負度が低いかもしれないが、人気がないなら念のため押さえておきたい。		
	12	ケンガイア		特別戦2連勝も、走破時計、勝ちっぷりからインパクトが薄い。重賞で壁にぶつかるはず。		
7	13	セイシャレード		新馬→露草特別と2連勝を飾るもその後が苦戦続き。SIでは荷が重い。		
	14	エムティアン	△3	2走前のエーデルワイス賞で勝ち馬アークヴィグラスから0.3秒差の3着に好走。レースセンスの高いバドトロワ産駒で、ダートでは【2.1.1.0】と底を見せていない。ダート1600mでどこまで走れるか未知数も、エーデルワイス賞並みのパフォーマンスを發揮できれば、馬券圏内の好走があってもいい。		
8	15	ミッドサマーナイト		オープンでは若武者賞→鎌倉記念→クラークベセクレタ・メモリアルと苦戦続き。SIでは荷が重いだろう。		
	16	ポルドーシエル		転入初戦の2歳二組で2着に好走するも、3着マオノピュアはローレル賞で12頭立ての11着に敗れていた馬。ローレル賞の上位勢には敵わないだろう。		